





定期報告書の添付書類【その3】 (馬牧場については添付の必要はありません)

農場名		飼養衛生管理者	
-----	--	---------	--

5 家畜伝染病発生時に焼却又は埋却が必要となる場合に備えた土地の確保等の準備

① 埋却用地を確保している	はい ・ いいえ	「はい」の場合は 7と【その4】9を記入
② 焼却・化製処理のための準備措置を講じている	はい ・ いいえ	「はい」の場合は 8と【その4】9を記入

6 5の①、②とも「いいえ」とした場合は、これらを確保するための取組状況を下欄に記入。

7 埋却用地の確保の状況 (5の①が「はい」のとき)

① 埋却用地の所在地

②埋却用地が自己の所有する土地でない場合は以下に記入

ア その所有者の氏名又は名称

イ 当該土地の利用に関する契約の内容

注意 契約書等書面により確認できるものがあれば写しを添付すること。

③埋却用地の面積・利用状況

④ 農場から埋却用地までの距離

面積	m <sup>2</sup>	距離	km
利用状況			

【参考】飼養衛生管理基準に定められた埋却用地の標準面積。									
・ 成牛（月齢が満24月以上の牛をいう）1頭あたり5平方メートル									
・ 肥育豚（月齢が満3月以上のものに限る。）1頭あたり0.9平方メートル									
・ 成鶏（日齢が満150日以上鶏をいう。）100羽あたり0.7平方メートル									

8 焼却・化製処理のための準備措置の状況 (5の②が「はい」のとき)

① 焼却施設・化製処理場の名称

② 焼却施設・化製処理場の所在地

③ 農場から焼却施設・化製処理場までの距離

距離	km
----	----

定期報告書の添付書類【その4】

農場名		飼養衛生管理者	
-----	--	---------	--

9 埋却用地、焼却・化製施設周辺への事前説明（馬牧場については記入の必要はありません）

①埋却・焼却・化製処理の実施に関する説明の有無及び承諾の有無

説明の有無	有 ・ 無
-------	-------

→「有」の場合は、下欄に記入

説明の対象者	承諾の有無
	有 ・ 無

注意 7から9については、埋却用地（焼却・化製施設）が複数ある場合は用地(施設)ごとに作成する。

10 農場ごとに作成する飼養衛生管理マニュアル

飼養衛生管理マニュアルの表紙の写しを添付する。

11 大規模所有者の追加報告項目（馬牧場については記入の必要はありません）

所有者は「大規模所有者 ※」に該当する	はい ・ いいえ
---------------------	----------

「はい」の場合は、  
従業員が農林水産大臣が定める一定の症状を確認した場合に、  
家畜保健衛生所へ直ちに通報することを規定したものの写しを添付する。

<p>※ 大規模所有者とは、次の頭羽数以上の家畜の所有者をいう。</p> <p>① 成牛の場合 200頭以上 （成牛とは、満24月以上の牛、ただし、乳用雄および交雑種では満17月以上）</p> <p>② 育成牛の場合 3,000頭以上（育成牛とは、成牛を除く満4月以上の牛）</p> <p>③ 水牛・馬の場合 200頭以上</p> <p>④ 鹿・めん羊・山羊・豚・いのししの場合 3,000頭以上</p> <p>⑤ 鶏・うずらの場合 10万羽以上</p> <p>⑥ あひる・きじ・だちょう・ぼろぼろ鳥・七面鳥の場合 1万羽以上</p>
---